

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	モジラ・アルク(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 8月 1日		～ 2025年 8月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22世帯	(回答者数) 21世帯
○従業者評価実施期間	2025年 7月 18日		～ 2025年 7月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別性に合った支援と安心できる環境	活動プログラムに沿って、それぞれの発達段階に応じたスタッフ配置、環境設定を行い、丁寧な支援ができています	個別と小集団の支援を組み合わせながら、支援の充実を継続する
2	活動プログラムの工夫と多様性	5領域を踏まえて、月案から週案へ丁寧に落とし込みを行い、スタッフの強みを活かした支援が行えている	地域の資源（児童館・図書館など）を活用した活動や、体験型プログラムの導入。
3	保護者支援・相談体制の充実	送迎時やご家族のお迎え時に、近況の確認を行ったり、また、電話やメール等でご家族の思いに寄り添い、一緒に方向性を導き出せるように面談等を行っている。	保護者向けの研修や勉強会の開催、きょうだい向けイベントの実施。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流・保護者交流の不足	きょうだい支援や保護者同士の交流の機会が少ない	保護者アンケートを通じ、望まれる交流スタイル（茶話会・学習会・情報交換会等）を把握。
2	関係機関連携の不足	保育所やこども園とは連携できているが、リハビリ関係機関（PT・OT等）との情報共有が不十分。	月1回程度、必要に応じたリハビリ関係者とのケース会議を設定するなど、情報共有できる機会を検討。
3	安全・防災体制の周知不足	マニュアルは策定済みだが、保護者への周知や非常時訓練の継続に改善余地がある。	事故防止・感染症対応マニュアルの概要を分かりやすくまとめたフローチャートを作成する

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名 モジラ・アルク(児童発達支援)

公表日 2025年 8月 28日

利用児童数

22世帯

回収数

21世帯

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21				・子どもが毎回楽しんで参加しているの で十分だと思う ・子どもが広々と遊んでいる	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20			1	・スタッフの数を把握していない ・一人一人に目が届き、その日の活動に ついて知らせてもらい安心できる	契約時や年度初めにお伝えしているが、 伝え方の工夫をしていきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			1	・分かりやすく楽しめている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21				いつも清潔さを感じる	
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	21				子どもの特徴に合わせた声掛けを教えて もらい助かっている	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	21				合っている	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思 いますか。	21				計画は面談で伝えた内容も入っており、 分析されている	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	21				具体的な内容で分かりやすい	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	20			1	毎日、色々な活動が予定されている	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	13	2		6		100%の子ども達が、こども園等との並行通園を している為、別途交流時間は作っていない。しか し、地域の児童館等の資源は活用しながら支援を 行っている
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	21					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	17		2	2		親子ワークショップを計画しているの で、今後充実させていきます
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	20			1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20			1	迷った時に連絡したり、見学に行くとき すぐに相談に乗ってもらい助かっている	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20			1		ご家族にとって、安心できる関係性が築 いていけるように今後も思いに寄り添う 支援を行います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	1	2	6	きょうだいも連れて見学に行くと一緒に 活動に参加させてもらえる	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1	1	1	不安なことを相談するとすぐに電話で対応してくださり、とても助かっている	今後もご家族が相談しやすい関係性を築いていきます
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20		1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	1		SNSで我が子を楽しそうな姿が見れるので楽しみです	事業所での取り組みが分かるように、個人情報に配慮しながら発信していきます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	2	1	2		ご家族へのマニュアル提示について分かりやすい工夫を検討し、準備が整い次第対応いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1		4	家では教えたことがないが、「119」を覚えて帰ってきました。	定期的な訓練を継続していきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	2			けがをした時、病院の予約、診察の付き添いまでしてもらいました。	今後も丁寧に対応させていただきます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21				嫌がることなく楽しんで行くので安心している	子ども達、ご家族が安心して過ごせるように、関係性を大切にしていきます。活動プログラムにおいても、発達に即した楽しい専門性のある支援を継続していきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1			毎朝「今日は？アルク？」と楽しみにしている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21				家ではできない遊び、学びをしてきて満足している	

公表

事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名		モジラ・アルク(児童発達支援)		公表日		2025年 8月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・パーティションを使いながら環境調整を行っている。 ・発達段階に応じた活動分けを行っている。	・開放的な環境である為、活動内容によっては集中できない子もいるので、今後も環境設定は工夫していきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1		・本棚の整理が不十分な時があるので、気を付けていきたい	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1		個室はないが、穴倉や相談室、パーティションを活用しながら個別支援の充実を図っていく	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	朝礼やミーティングにて意見が出せる機会を作っている	業務改善できることの時間さが生じることもあるので、優先順位を整理しながら、働きやすい環境を整えていきたい	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		第三者評価は行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		法人内でキャリアに応じた研修体制がとられている		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ホームページに掲載されている。また、月の活動計画においてはインスタグラムにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		事業所内では共通のツールを活用しているが、さらに良いものがあるか模索している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		毎月、丁寧にプログラム立案を行っている		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		五領域にそって、丁寧に計画を立てている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		シフトの関係上、終礼は行えていないが、朝礼や昼間の時間を活用して、情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		毎日記録出来ている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		昼の時間を活用して実施している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児発管を中心に会議への参加をしているが、必要に応じて支援員も同席している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3	こども園とは会議等のみならず、送迎時や電話等でも連絡を取っている。	医療機関とは繋がりが密ではない為、今後強化していきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	担当者会議やモニタリングを中心に情報共有を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		引き継ぎ書を作成し、お伝えしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	4	頻度的には多くないが、必要に応じてセンターと連絡を取っている。	児発管を中心に連絡を取っているが、他スタッフへの周知が不十分などところがある。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		並行通園している子どもがほとんどだが、事業所としては交流が出来ていない。交流の必要性も十分に検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		利用児の状況については、毎回メールにてご家族へお伝えしている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	親子ワークショップで機会を設けている。	年間通して、頻度が少ないため、ご家族のニーズも確認しながら計画していきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		担当者会議や契約時にご家族の意向を確認している	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		毎回、ご家族に直接説明し同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		モニタリング時を中心にご家族の状況を確認している。また、ご家族からの相談にも柔軟に対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2		父母の会の発足は今後も考えていない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	見学の受け入れは柔軟に対応している	事業所での行事に地域住民の招待はできていない。今後検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3		マニュアルの作成は行っているが、ご家族への周知については、他事業所の取り組みも教えていただきながら早期に対応できるようにしたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	外出支援では計画書を作成し、スタッフ間で情報共有している	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		年に1回虐待防止研修を行っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		契約時に説明している		